

令和6年度

第5学年 人権教育にかかわる年間指導計画

人権教育にかかわる年間指導計画作成のための方針

- 教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認めることを重視した指導をする。
- 児童の望ましい人間関係の育成のために、道徳授業を中心に、道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行い、各教科においては、児童がかかわり合う学習活動を行うようにし、ともに学び合うことの大切さを実感することができる指導を展開する。
- 教科等の学習や学校行事、日常の社会生活の中から人権課題について学ぶことができるようにする。
- 特別活動や総合的な学習の時間を中心に関連的な指導を図り、人権課題について学んでいく。

	4月	5月	6月	7月	8月(夏季休業)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級	学年目標に人権教育のねらいを位置づける									ウインタースクールに向けてふれあいを大切に人間関係を深めていく		
経営	・暴力は許しません・言葉の暴力は許しません ・一生懸命をじゃますることは認めません					望ましい人間関係を育成し、一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるようにする						
各教科	社会「世界の中の国土、くらしを支える食料生産」 国民の食生活を支える農業を尊重する態度を育てる			社会「くらしを支える工業生産」 自分の生活と外国の関係の深さに気づかせる			社会「環境を守るわたしたち」 工夫しながら自然環境に適応し、生活していることを理解させることにより、国土に対する愛情を育てる			理科「生命のつながり」		
読書科	読書活動		読書月間		算数 他の考えを認めながら、自分の考えを深めようとする態度を育てる		読書月間		国語「大造じいさんとガン」			
家庭	家庭 家族の一員として積極的に家庭生活に協力しようとする気持ちを育てる			体育「心の健康」自他の生命を尊重し、前向きに生活していこうという気持ちを育てる			思いやり 相手のためになることを考える			個性の伸長 自分の長所を知り、伸ばしていこうとする		
特別の教科	道徳 公正・公平 だれに対しても差別や偏見をもつことなく公正・公平に接しようとする態度を育てる		生命尊重 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する態度を育てる		勤労・奉仕 社会のために役立つ喜びを知り、すすんで働こうとする態度を育てる		国際理解 国際社会のあり方を考える態度を育てる		節度・節制 自分の生活を振り返り、節度を守って節制を心掛ける態度を育てる			
特別活動	学級活動 学年目標を受けて、人権教育にかかわる学級の目標を設定する		学級活動 運動会スローガンを考える		縦割り班活動 異学年と交流することにより、学校生活を豊かなものにする		学級活動 人権週間に向けて川柳をつくる					
総合的な学習の時間	一年生を迎える会		実のなる木公園について知ろう		稲刈り・脱穀(環境)		最高学年への準備をしよう ・卒業式関連行事 ・鼓笛隊の引き継ぎ					
その他	《家庭訪問・保護者会等》 家庭からの連絡などから、児童一人一人の実態を把握する学校や学年の方針について説明する						《保護者会等》 人権週間について説明し啓発を図る					

